

帝国書院 平成28年度以降用『社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土』
令和3年度第2学年 年間指導計画作成資料

※第1学年で「第1部 世界のさまざまな地域」を終了させて、第2学年では「第2部 日本のさまざまな地域」を学習する場合の年間指導計画案です。
第2学年での歴史的分野の時間を適宜配当ててください。

ページ	項目	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
第2部 日本のさまざまな地域				
第1章 日本の姿		<この単元のねらい> 地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取りあげ、日本の地域構成を大観させる。		<この単元の評価規準> ①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
120 121	1 世界の中での日本の位置 ○緯度・経度でみた日本の位置 ○世界の他地域からみた日本の位置	地球儀や世界地図を活用しながら、さまざまな方法で日本の位置を示す。	中東や極東などの用語を紹介し、ヨーロッパを中心に世界をとらえる見方にもふれ、さまざまな視点から日本や世界をとらえさせる。	①緯度や経度を使った日本の位置を理解するとともに、さまざまな地図を活用して、世界からみた日本の位置を読み取ったり、示したりしている。 ②地球儀や世界地図を活用しながら、日本の位置の示し方を多面的・多角的に考察している。
122 123	2 時差でとらえる日本の位置 ○地球上における位置と時差の関係	時差のしくみを理解し、日本とおもな国々(都市)の時差を計算する。	数学での正負の数の既習知識や計算技能を活用しながら時差を求めさせる。	①時差のしくみや等時帯の使い方を理解し、世界の等時帯を示した地図を活用して、さまざまな国や都市の時間を読み取っている。 ②日本とおもな国々(都市)の時差による違いや配慮などを多面的・多角的に考察している。
124 127	3 日本の領域と領土問題 ○日本の領域 ○海の資源の利用と排他的経済水域 ○移り変わってきた日本の領域 ○北方領土をめぐる問題 ○竹島 ○尖閣諸島	領域のしくみや日本の領域の特色を理解し、日本がかかえる領土問題について主体的に考える。	日本の固有の領土である北方領土や竹島、尖閣諸島について、我が国の主張をもとに指導する。	①領域のしくみや日本の領域の特色、日本が抱える領土問題について理解するとともに、さまざまな資料から我が国が抱える領土問題の経緯や我が国及び各国の主張を調べまとめている。 ②北方領土や竹島、尖閣諸島についての経緯や課題などを多面的・多角的に考察している。
128 129	4 都道府県と県庁所在地 ○都道府県と県庁所在地	都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解する。	明治以後の歴史的背景に着目させる。	①都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解するとともに、都道府県名と県庁所在地名との関係をもとに調べまとめている。 ②自分が知っている都道府県の位置や名称を多面的・多角的に考察している。
130 131	5 さまざまな地域区分 ○都道府県をもとにした地域区分 ○さまざまな地域区分	日本を区分するさまざまな視点を知り、さまざまな地域区分があることを理解する。	形式地域による区分であるのか、実質地域による区分であるのかに留意しながら区分の仕方を指導する。	①さまざまな地域区分の仕方や目的について理解し、その知識を身につけている。 ②7地域区分以外の地域区分がある理由を、区分の目的や基準などから多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第2章 世界と比べた日本の地域的特色		<この単元のねらい> 世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取りあげ、我が国の国土の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観させる。		<この単元の評価規準> ①世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野から見た「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」を様々な資料から読み取り、理解し、その知識を身につけている。 ②世界と比べた日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の観点をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③日本の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
132 133	1 節 自然環境の特色 1 世界の地形 ○活動が活発な地域につながる山地 ○安定した地域に広がる平原	世界における地震や火山の分布や造山帯に関連させ、地震や火山が多い日本の特色について理解する。	地震や火山の分布はかなり偏りがあることに気付かせる。	①世界における地震や火山の分布や造山帯の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②世界における地震や火山の分布や造山帯と日本で地震や火山が多いことを関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。
134 135	2 日本の山地・海岸と周辺の海 ○日本列島の背骨をなす山地 ○変化に富んだ日本の海岸	日本の山地や海岸、日本をとりまく海を特色を理解する。	さまざまな地形の特色に着目させる。	①日本の山地や海岸、日本をとりまく海を特色を理解し、日本を構成する地形の知識を身につけている。 ②日本近海が有数の漁場となっている理由を、海流の特色に着目して考察し、その結果を適切に表現している。
136 141	3 日本の川と平野 ○大陸の川と比べた日本の川 ○川がつくるさまざまな地形	日本の川と平野との関係や特色を理解する。	世界の川や平野の特色と比較して考えさせる。	①日本の川や平野の地形を理解し、その知識を身につけている。 ②日本の川や平野の特色を、世界の川や平野の特色と比較して考察し、その結果を適切に表現している。
142 143	4 日本の気候 ○日本の気候の特色 ○日本の気候区分	日本の気候の特色や地域による違いを理解する。	景観写真や雨温図から日本の気候が大きく六つに分けられることに気付かせる。	①日本の六つの気候の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②太平洋側と日本海側で降水量の多い時期が異なる理由を、季節風や地形と関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。
144 145	5 日本のさまざまな自然災害 ○日本に多い地震と火山 ○さまざまな気象災害	日本で発生する自然災害の特色を理解し、地形や気候など自然環境との関連を考える。	これまで発生した自然災害の具体的な事例を活用しながら指導する。	①日本で発生する自然災害の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②さまざまな自然災害が起こる理由を地形や気候など自然環境と関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。
146 147	6 自然災害に対する備え ○防災への工夫 ○災害への対応	日本で取り組まれている防災や減災の取り組みを理解し、自然災害に対する備えを考える。	具体的に行われている取り組みをもとに、これからの自然災害への備えを主体的に考えさせる。	①日本で取り組まれている防災や減災の取り組みを理解し、その知識を身につけている。 ②日本で取り組まれている防災や減災の取り組みをもとに、自然災害に対する備えを主体的に考え、その結果を適切に表現しようとしている。

ページ	項目	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
150 151	2節 人口の特色 1 世界の人口の分布と変化 ○世界の人口とその分布 ○世界の人口の変化 ○地域によって異なる人口増加	世界の人口分布や増加のようすを、地域による違いに着目しながら理解する。	人口ピラミッドの読み取り方や活用法について指導する。	①世界の人口の分布と変化の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②人口増加によって発生するさまざまな問題を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現することができる。
152 153	2 日本の人口の変化と特色 ○日本の人口の変化と少子高齢社会 ○日本の人口分布の特色	日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を理解し、人々の生活に及ぼす影響を考える。	人口ピラミッドの変化から日本が少子高齢社会になったことや人々の生活に及ぼす影響について考えさせる。	①日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②日本が少子高齢社会になったことが人々の生活に及ぼす影響について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
154 155	3節 資源や産業の特色 1 世界の資源・エネルギー ○増加する資源の消費量 ○資源の生産と分布 ○世界各地で進む資源の開発 ○再生可能エネルギーの活用	世界の資源・エネルギーの生産や消費の現状や課題を理解させるとともに再生可能エネルギーの活用について考える	シェールガスやメタンハイドレートなどの新しい資源について、現状や今後の動向などに注目させる。	①世界の資源・エネルギーの生産や消費の現状や課題を理解し、その知識を身につけている。 ②シェールガスやメタンハイドレートなどの新しい資源や再生可能エネルギーの活用について、多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
156 157	2 日本の資源・エネルギーと電力 ○資源を輸入にたよる日本 ○生活を支える電力 ○持続可能な社会の実現	日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について考える。	東日本大震災での原子力発電所の事故以来、変化してきている日本の資源やエネルギーに関する考え方に着目させる。	①日本の資源・エネルギーと電力の現状や課題を理解し、その知識を身につけている。 ②日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
158 159	3 日本の農業・林業・漁業とその変化 ○日本の農業地域 ○日本の農業の特色や課題 ○日本の林業と漁業の特色	日本の農業・林業・漁業の特色や課題、変化を理解する。	海外との競争や従事者の高齢化や後継者不足などが大きな課題となっていることに気付かせる。	①日本の農業・林業・漁業の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②海外との競争や従事者の高齢化や後継者不足などの課題解決を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
160 161	4 日本の工業とその変化 ○日本の工業の特色と工業地域 ○変化する日本の工業	日本の工業地域の分布や工業出荷額をもとに、日本の工業の特色と変化を理解する。	日本の工場の立地が変化する理由や日本の企業が海外に進出する理由を考えさせる。	①日本の工業の特色と変化の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②日本の工場の立地が変化する理由や日本の企業が海外に進出する理由を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
162 163	5 日本の商業・サービス業 ○日本の産業の中心、商業・サービス業 ○日本の商業の変化	日本の商業・サービス業の現状と課題を理解する。	産業の高度化が進む中で、特に近年、サービス業の中でも情報通信技術（ICT）関連産業が急速に拡大していることに着目させる。	①日本の商業・サービス業の現状と課題を理解し、その知識を身につけている。 ②テレビやインターネットを利用した無店舗販売や情報通信技術（ICT）関連産業が急速に拡大することによっておこる社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
164 166	4節 地域間の結びつきの特色 1 世界と日本の交通・通信網 ○交通による世界との結びつき ○国内の交通網の発達と生活の変化 ○通信網の発達と人々の	交通網や通信網が発達することによっておこった、世界や日本の地域間の結びつきの変化を理解する。	世界や日本の地域間の結びつきが強まったことによって利点や問題点にそれぞれ着目させる。	①世界や日本の地域間の結びつきの変化や特色を理解し、その知識を身につけている。 ②世界や日本の地域間の結びつきが強まったことによる利点や問題点をそれぞれ多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
第3章 日本の諸地域		<この単元のねらい> 日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかの視点に着目して地域的特色をとらえさせる。		<この単元の評価規準> ①日本の諸地域について、七つの視点に着目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 ②日本の諸地域の地域的特色を、七つの視点に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 ③日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
167	序説 日本の諸地域を学ぶにあたって	日本を七つの地方に区分し、これまでで学習してきた、世界と比べてみた日本全体の特色を生かしながら地域ごとに異なる視点を設定する。	それぞれの地域的特色を追究するのにもっとも適切であると考えられる視点を選ぶよう配慮する。	①日本を七つの地方に分けてそれぞれの地域的特色を大観し、その知識を身につけている。 ②各地方の地域的特色を明らかにする視点を多面的・多角的に考察して選択し、適切に表現することができる。
168 171	1節 九州地方 1 九州地方の自然環境 ○海に囲まれて火山が多い九州地方 ○温暖な気候と自然災害	九州地方を概観し、自然や人々の生活の特色を理解する。	現在も活動する火山が多いという地形の特色に着目させる。	①九州地方の都道府県や地形の位置と名称を理解し、身につけている。 ②温暖な気候や火山が多い地形、アジアに近いという位置の特色から、九州地方の人々の生活を大まかに考察している。
172 173	2 自然とともにある九州の人々の生活 ○火山による温泉の恵み ○火山とともに生きる鹿児島の人々 ○自然の恵みをエネルギーに生かす取り組み	火山の恵みと被害の両面を理解し、その利点の生かし方や防災への取り組みを考える。	火山が多いという自然環境の中で恵みと被害に直面する人々の生活のようすをとらえさせる。	①九州地方の自然環境を生かした産業や、災害、防災への取り組みなどを理解し、その知識を身につけている。 ②火山のめぐみや被害の実態をもとに、九州地方の人々の生活向上について多面的・多角的に考察している。
174 175	3 温暖な気候を生かした農業 ○畜産がさかんな九州南部 ○シラス台地での畑作と畜産 ○稲作がさかんな九州北	温暖な気候や火山活動の影響を受けた土地を生かした農業の実態をとらえ、その特色を理解する。	温暖な気候や火山灰地層という地域的特色が特色ある農業を生み出していることに気づかせる。	①九州南部の畜産やシラス台地での畑作、北部での稲作の実態を理解し、その知識を身につけている。 ②温暖な気候や火山との関連などの自然環境を生かした農業の特色について、多面的・多角的に考察している。

ページ	項目	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
176 177	4 都市や工業の発展と自然環境 ○港町から発展した福岡 ○地域の資源を生かした工業の発達とその変化	アジアに近いという特色を生かして発展してきた都市や工業の歴史をとらえ、その特色を理解する。	アジアに近いという特色から福岡市や北九州工業地帯の発展と役割について考えさせる。	①アジアに近いという立地から原燃料が調達しやすいことで発達した九州の工業について理解し、その知識を身につけている。 ②アジアに近いという自然環境を生かした都市の発達や工業の特色について、多面的・多角的に考察している。
178 179 181	5 南西諸島の自然環境と生活や産業 ○南国の自然がみられる南西諸島 ○南国の自然を生かした産業 ○アジアとの交流の歴史 *学習をふりかえろう九州地方	温暖な気候やアジアとの交流の歴史などに着目しながら、特色のある南西諸島での人々の暮らしについて理解する。	南西諸島の独特の文化や生活を世界やアジアにおける南西諸島の位置や歴史に着目しながら考えさせる。	①アジアとの交流の歴史や軍事基地のある地域での生活について理解し、その知識を身につけている。 ②世界やアジアにおける南西諸島の位置や歴史が独特の文化や生活をつくりだしていることについて多面的・多角的に考察している。 ③単元の学習を振り返り、九州地方の地域的特色や九州地方の課題、これからの九州地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
182 185	2節 中国・四国地方 1 中国・四国地方の自然環境 ○三つの海と二つの山地 ○三つの地域で異なる気候	中国・四国地方を概観し、自然や人々の生活の特色を理解する。	地域を山陰、瀬戸内、南四国の三つに分けて、気候の特色と地域の特色を関連付けてとらえさせる。	①中国・四国地方の地形や気候の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②瀬戸内が温暖で降水量が少ない理由を地形の特色と関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。
186 187	2 交通網の整備と人々の生活の変化 ○高速道路の整備と本州四国連絡橋の開通 ○橋の開通による島での生活の変化 ○交通網の発達による他地域との結びつきの変化	本州四国連絡橋や高速道路の整備による地域の人々の生活の変化について考える。	交通網の整備によって他地域と結びついたことによる利点や問題点に気付かせる。	①本州四国連絡橋や高速道路の整備による地域の人々の生活の変化を理解し、その知識を身につけている ②交通網の整備によって他地域と結びついたことによる利点や問題点を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
188 189	3 海外と結びついた瀬戸内の工業 ○海運で結びつく瀬戸内の工業 ○国内外に輸送される工業製品 ○海外との競争と新しい	海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色について考える。	海外とつながることによる利点や課題に気付かせる。	①海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②海外とつながることによる瀬戸内地域の工業の利点や課題を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
190 191	4 全国展開を進める農業 ○瀬戸内の果樹栽培と全国展開 ○大都市と結びつく高知平野の野菜栽培	他地域との結びつきを生かして全国展開を進めている瀬戸内や南四国の農業の特色について考える。	気候の特色を生かして特色ある農業が営まれていることに気付かせる。	①瀬戸内や南四国の農業の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②海外や他地域との競争が激しくなる中で行われる地域の努力や工夫を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
192 193 195	5 観光客を呼び寄せる取り組み ○山間部や離島で進む過疎化 ○交通網の発達による観光地の変化 ○観光客を呼び寄せる地域おこしの取り組み *学習をふりかえろう	過疎化が進む山陰地域の、交通網の整備による変化について考える。	地域の持続発展に向けて、さまざまな努力がなされていることに気付かせる。	①山陰地域で行われている観光を中心とした取り組みを理解し、その知識を身につけている。 ②過疎化が進む山陰地域の持続発展について、交通網の整備と観光業を中心に多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 ③単元の学習を振り返り、中国・四国地方の地域的特色や中国・四国地方の課題、これからの中国・四国地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
196 199	3節 近畿地方 1 近畿地方の自然環境 ○南北の山地と中央部の低地 ○南北の山地を境に分かれる気候	近畿地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。	南北の山地に着目して地形や気候の特色をとらえさせる。	①近畿地方の地形や気候の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②南部、中央部、北部の特色を地形や気候の特色と関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。
200 201	2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 ○京阪神大都市圏と琵琶湖・淀川の水 ○琵琶湖の水質改善 ○商業がさかんな大阪	京阪神大都市圏の水源地である琵琶湖の環境保全の重要性について考える。	琵琶湖から淀川を通して瀬戸内海に至る水運を生かして商業を発達させた大阪にも着目させる。	①商業を中心に発達してきた大阪の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②琵琶湖の水質汚濁に対する対策について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
202 203	3 臨海部の埋め立てと環境に配慮した工業 ○阪神工業地帯と環境問題への取り組み ○内陸部に集まる中小企業の工場	阪神工業地帯の現状や課題を追究し、環境保全の取り組みについて考える。	内陸部に中小企業が多いことにも着目させる。	①阪神工業地帯の環境問題や環境保全の取り組みを理解し、その知識を身につけている。 ②大企業や中小企業が行う環境保全の取り組みをそれぞれ考察し、その結果を適切に表現している。
204 205	4 古都奈良・京都と歴史的景観の保全 ○古都奈良・京都とその町なみ ○歴史的景観の保全に向けて	京都や奈良の町なみの変化や歴史的景観を守る取り組みについて考える。	地域で生活する人々の利便性を守りながら歴史と伝統を守っていくという視点に着目させる。	①京都や奈良の歴史的景観を守るさまざまな取り組みを理解し、その知識を身につけている。 ②地域で生活する人々の利便性を守りながら歴史と伝統を守るといった地域の持続発展について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
206 207 209	5 環境に配慮した林業・漁業と保全活動 ○紀伊山地の林業の変化 ○紀伊山地の観光と景観保全 ○水産資源保護への取り組み *学習をふりかえろう近畿地方	近畿地方の林業や漁業の特色と環境保全の取り組みについて考える。	森林がもつ環境保全の役割に着目し、林業の大切さに気付かせる。	①近畿地方の林業や漁業の特色と環境保全の取り組みを理解し、その知識を身につけている。 ②林業や漁業と環境保全との関連や持続発展に向けての取り組みについて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 ③単元の学習を振り返り、近畿地方の地域的特色や近畿地方の課題、これからの近畿地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。

ペ 書	項目	学習内容・ 学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
210 213	4節 中部地方 1 中部地方の自然環境 ○日本アルプスをいだく 中部地方 ○特色ある三つの地域の 気候	中部地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。	地域を東海、中央高地、北陸に三つに分けて、気候の特色と地域の特色を関連付けてとらえさせる。	①中部地方の地形や気候の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②東海、中央高地、北陸の生活のようすを地形や気候の特色と関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。
214 215	2 輸送機械工業がさかんな東海 ○自動車の生産がさかんな中京工業地帯 ○輸送機械や楽器の生産がさかんな東海工業地域	中京工業地帯や東海工業地域の特色をとらえ、輸送機械工業がさかんな理由を考える。	歴史的背景や大手企業の工場立地に着目させる。	①中京工業地帯や東海工業地域の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②歴史的背景や大手企業の立地に着目しながら東海で輸送機械工業がさかんな理由を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
216 217	3 交通網が発達した東海の農業 ○温暖な気候と交通の便の良さを生かした農業 ○日本一の茶どころ、静岡	都市向けの農業が発達した理由を考える。	気候や交通網の発達、大都市との位置関係などに着目させる。	①抑制栽培や園芸農業について理解し、その知識を身につけている。 ②気候や交通網の発達、大都市との位置関係などに着目しながら都市向けの農業が発達した理由を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
218 219	4 内陸にある中央高地の産業の移り変わり ○高原を野菜産地に ○養蚕から果樹栽培へ ○製糸業から電気機械工業	時代の変化とともに移り変わってきた中央高地の産業の実態をとらえる。	社会の変化や自然環境の特色と関連付けて考えさせる。	①中央高地の産業の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②中央高地の産業の変化を、社会の変化や自然環境の特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
220 221 223	5 雪とのかかわりが深い北陸の産業 ○豊富な雪どけ水と米づくり ○雪国で発達した地場産業 *学習をふりかえろう	北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を考える。	日本有数の豪雪地帯であるという特色に着目させる。	①豪雪と北陸の産業とのかかわりを理解し、その知識を身につけている。 ②日本有数の豪雪地帯であるという特色に着目しながら、北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 ③単元の学習を振り返り、中部地方の地域的特色や中部地方の課題、これからの中部地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
224 227	5節 関東地方 1 関東地方の自然環境 ○日本で最も広い関東平野 ○内陸と海沿いで異なる気候	関東地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。	江戸時代からの開発の歴史や台地や低地の特色に着目させる。	①関東地方の地形や気候の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②関東平野の特色を江戸時代からの開発の歴史や台地や低地の特色に着目しながら考察し、その結果を適切に表現している。
228 229	2 多くの人々が集まる首都、東京 ○日本の首都、東京 ○世界都市、Tokyo ○交通網の中心となる東京	日本や世界における、東京の役割を考える。	東京は人口やさまざまな機能が集中していることに気付かせる。	①首都であり、多くの人々が集まる東京の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②人口やさまざまな機能が集中することに着目しながら日本や世界における、東京の役割を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。
230 231	3 拡大する東京大都市圏 ○東京大都市圏の拡大 ○東京大都市圏の中の大都市、横浜	東京大都市圏の拡大の特色や都市問題について考える。	東京大都市圏の中心部と周辺部では、役割が大きく異なることに気付かせる。	①東京大都市圏の拡大の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②人口が集中することで発生した都市問題とその解決について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
232 233	4 人口の集中がもたらした産業 ○情報と娯楽を扱う産業の発展 ○活発な消費活動を支える産業	人口が集中することによって発展した産業の特色を考える。	人口集中と第3次産業の発達との関連に着目させる。	①人口が集中することによって発展した産業の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②人口が集中する地域で第3次産業がさかんになる理由を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
234 235	5 臨海部から内陸部へ移りゆく工場 ○臨海部から発達した京浜工業地帯 ○北関東への工場進出と流通の変化	関東地方の工業の発展や移り変わりを、人口の特色に着目して考える。	東京で出版・印刷業が多い理由を、人口集中と関連付けながら考えさせる。	①京浜工業地帯、京葉工業地域、北関東工業地域の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②関東地方の工業の発展や移り変わりを人口の変化や市街地の拡大に着目しながら多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
236 237 239	6 大都市周辺の農業と山間部の過疎問題 ○食料の大消費地を支える農業 ○山間部の役割と地域の再生 *学習をふりかえろう 関東地方	大消費地と深く関連する関東地方の農業の特色や山間部での過疎問題について考える。	ITターンやITターンなどの近年みられる新しい動向にも着目させる。	①近郊農業の発達や利点について理解し、その知識を身につけている。 ②山間部で深刻化する過疎問題の改善について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 ③単元の学習を振り返り、関東地方の地域的特色や関東地方の課題、これからの関東地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
240 243	6節 東北地方 1 東北地方の自然環境 ○南北にはしる山脈 ○東西で異なる気候	東北地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。	豪雪や厳しい寒さなど、厳しい自然環境の中で、人々が生活していることに気付かせる。	①東北地方の地形や気候の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②東北地方の自然環境の特色を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
244 245	2 寒い夏に対する稲作と畑作の努力 ○米づくりと寒い夏の克服 ○減反政策と銘柄米の開発 ○冷涼な気候を生かした	冷夏などの厳しい自然環境を克服し発展させてきた東北地方の稲作や畑作の努力について考える。	厳しい自然環境を克服するだけでなく、冷涼な気候を生かした農業の工夫についても着目させる。	①東北地方の稲作や畑作の実態や工夫を理解し、その知識を身につけている。 ②厳しい自然環境を克服し、発展させていくための努力を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
246 247	3 果樹栽培の発展と生活に根づいた漁業 ○果樹栽培における農家の取り組みと変化 ○さかんな漁業と生活とのかかわり	果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について考える。	東日本大震災による漁業への被害や復興についても取り扱う。	①東北地方での果樹栽培や漁業について理解し、その知識を身につけている。 ②果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。

ページ	項目	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
248 249	4 伝統文化を生かした観光業の発展 ○地域の農業と深く結びついた祭り ○交通網の整備とともに発展した観光業 ○多大な魅力をもつ東北	祭りをはじめとする東北地方の伝統文化を生かした観光業の発展とこれからを考える。	観光業の発展が、これからの東北地方の発展や震災からの復興に大きく影響することに気付かせる。	①東北地方の祭りや観光業について理解し、その知識を身につけている。 ②観光業を活用した東北地方の発展・復興について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
250 251 253	5 発展する工業と生活の変化 ○現代の生活に合わせて進化する伝統的工芸品 ○工業の発展による人々の生活の変化 ○工業の発展と環境へ配慮したエネルギーの活用 *学習をふりかえろう 東北地方	工業の発展がもたらした人々の生活の変化について考える。	震災による原子力発電所の事故をきっかけにして原子力発電にかかわる新しいエネルギー源として再生可能エネルギーを活用する動きが活発化していることに気付かせる。	①東北地方の伝統的工芸品について理解し、その知識を身につけている。 ②工業の発展が東北地方の人々の生活をどのように変化させたかを多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 ③単元の学習を振り返り、東北地方の地域的特色や東北地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
254 257	7 節 北海道地方の自然環境 ○雄大な地形と景観 ○亜寒帯に属する北海道	北海道地方を概観し、自然や人々の生活の特色を理解する。	厳しい北海道の自然環境に合うように考えられたさまざまな工夫に着目させる。	①北海道地方の地形や気候の特色を理解し、その知識を身につけている。北海道地方の地形や気候の特色に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 ②北海道地方の自然環境の特色を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
258 259	2 厳しい自然環境を克服した稲作の歴史 ○農地開発から始まった稲作への挑戦 ○「寒さに強い米」からより「おいしい米」へ	厳しい寒さや農業に適さない土地という悪条件を乗り越えてきた稲作の歴史を考える。	明治初期から始まった開拓の歴史に着目させる。	①泥炭地の土地改良や稲の品種改良について理解し、その知識を身につけている。 ②石狩平野が全国有数の米の生産地になった理由を、開拓の歴史に着目させながら考察し、その結果を適切に表現している。
260 261	3 大規模化してきた畑作や酪農、漁業 ○広大な土地を生かしてきた畑作 ○すずしい気候のもとで発展した酪農 ○豊かな漁場に恵まれた	大規模に展開する北海道の畑作や酪農、漁業の特色を考える。	現在の状況に至るまでの経緯や歴史に着目させる。	①北海道の畑作や酪農、漁業の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②畑作や酪農、漁業の規模が大きく変化した理由を、これまでの経緯や歴史に着目しながら考察し、その結果を適切に表現している。
262 264	4 歴史や北国の自然を生かした観光業 ○歴史ある町なみを生かした観光業 ○計画的につくられた都市、札幌 ○豊かな自然を生かした観光業 *学習をふりかえろう	北海道の特色ある歴史や豊かな自然を生かして発達した観光業の特色を考える。	自然環境の保全と観光業の発達の両立を目指したエコツーリズムの在り方について具体的に考えさせる。	①歴史や北国の自然を生かした観光業の特色を理解し、その知識を身につけている。 ②観光客の増加に伴う自然破壊の対策とエコツーリズムについて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 ③単元の学習を振り返り、北海道地方の地域的特色や北海道地方の課題、これからの北海道地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
第4章 身近な地域の調査		<この単元のねらい> 身近な地域における諸事象を取りあげ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見出し、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせる。		<この単元の評価規準> ①観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 ①地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 ②地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
266 267	1 身近な地域の調査テーマを決めよう ○身近な地域を見直そう ○疑問を整理して調べるテーマを決めよう	地域に対する疑問を整理して、調査するテーマを設定する。	日頃から感じている疑問や写真や資料を見て抱いた疑問を、日本の諸地域で学んだ七つの視点で整理・分類させる。	①身近な地域を調べる視点や調査テーマを決める手順を理解し、その知識を身につけている。 ②身近な地域に関する疑問や調査するテーマを多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
268 269	2 調べる方法を考えよう ○調査方法を考えよう ○調査の準備をしよう	調査テーマに対する予想を考え、その予想が正しいかどうかを確かめる調査方法を考え、準備する。	教室内でできる調査方法と野外調査を組み合わせた計画的な準備を進めさせる。	①調査テーマに対する予想が正しいかどうかを確かめる調査方法について理解し、その知識を身につけている。 ②調査テーマに対する予想やその予想が正しいかどうかを確かめる調査方法を多面的・多角的に考察している。
270 271	3 実際に調査をしてみよう ○野外観察をしよう ○聞き取り調査をしよう	野外調査と聞き取り調査を実施する。	調査ノートを作成し、ルートマップや聞き取り調査の結果、景観のスケッチなどを記録させる。	①聞き取り調査の方法を理解し、その知識を身につけている。 ②より有効かつ効率的に野外調査が進むよう、多面的・多角的に考察している。
272 273	4 資料を集めてさらに深めよう ○資料を集めて調査しよう ○地域の課題をとらえよう	調査した結果をまとめたり、資料を関連させたりして予想を確かめ、身近な地域の特色や課題をとらえよう。	新旧の地形図を比較し、地域の変容を調べさせる。	①調査結果のまとめから見えてきた身近な地域の特色や課題を理解している。新旧の地形図を比較し、地域の変容を適切に読み取っている。 ②さまざまな資料を活用して設定した予想を多面的・多角的に検証し、その結果を適切に表現している。
274 275	5 調査結果をまとめて発表しよう ○意見を交換して調査結果をまとめよう ○調査結果を報告する発表会を開こう ○地域の課題や将来像を	調査結果から見いだした地域の課題についてグループで意見交換し、発表する。	さまざまな発表から得られたことをもとに、地域の良い点や課題を見出し、良さの伸長や課題解決に向けてできることを考えさせる。	①調査結果のまとめ方や発表の方法、調査で得られた身近な地域の特色などを理解し、その知識を身につけている。 ②さまざまな発表から得られたことをもとに、地域の良い点や課題を見出し、良さの伸長や課題解決に向けてできることを多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。